

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |   |               |
|----------------|---------------|---|---------------|
| ○事業所名          | ことばの教室ことのは3号館 |   |               |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年 2月 15日   |   | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 3 | (回答者数) 3      |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年 2月 15日   |   | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 1 | (回答者数) 1      |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和8年 2月 16日   |   | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)        | 3 | (回答者数) 3      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 14日   |   |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                | 工夫していることや意識的に行っている取組等                    | さらに充実を図るための取組等                                    |
|---|---|--|---|
| 1 | 専門職以外にも保育士や児童指導員など、児童対応の経験や様々な視点の助言など、支援方法等を一緒に検討しやすいところ。 | 専門職からの研修など情報共有会を実施しています。                 | 引き続き法人全体でのリーダー会議に参加しています。                         |
| 2 | 言語聴覚士の専門的な視点から訪問支援の実施もできること。                              | 言語聴覚士が実際に訪問を行い、訪問の先生方に直接支援や関節支援を実施があります。 | 日々の療育の中で、言語聴覚士が実施している直接支援の方法や糸を共有したり研修を行ったりしています。 |
| 3 | 訪問支援のみならず、並行して児童発達支援や放課後等デイサービスの利用も可能なので、より手厚い支援が実施できること。 | 訪問支援と通所支援の両方から支援方法の共有や課題点を具体的に伝えていきます。   | 訪問員以外も対象児童について、現在実施している支援について共有したり研修等を実施していきます。   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること             | 事業所として考えている課題の要因等                   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                  |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1 | 訪問員の人数や訪問経験の短さ。  | 経験のある訪問員の不在だと思います。                  | 経験豊富な訪問員への相談や訪問リーダーとの面談を通して不安感の軽減を行っていきます。            |
| 2 | 通所児童が多く、保育所等訪問支援のご相談があるが全て受け入れられていない。                  | 訪問支援職員が少ない為、サービスの利用に繋がっていないと思います。   | 訪問員の訪問回数を増やして、経験を積む事と訪問日程調整を早めに組む事が必要だと感じています。        |
| 3 | 保護者会での保護者交流の機会や、家族が参加できる研修会・情報提供の機会、きょうだい向けのイベント等が少ない。 | 日程調整や参加負担への配慮、職員体制等から開催する事ができていません。 | 保護者が参加しやすい日程調整や全体開催ではなく、少人数での開催等、無理のない形での実地を検討していきます。 |